

地域活性化と課題

地域創生アイデアコンテストに向けての取り組み

Regional Revitalization and its Challenges

— Initiatives for a Regional Revitalization Idea Contest —

手塚 雅之

Masayuki TEZUKA

目次

はじめに

- 1 地域創生
- 2 地域創生アイデアコンテストについて
- 3 高校生の就職状況
- 4 グループ活動における地域と分析
- 5 まとめ
- 6 参考文献

はじめに

本稿においては、地域経済に貢献する職業人の育成について述べるのであるが高等教育についての教育課程において専門的な知識や研究を行うことは当たり前であるが、学生の地元への就職希望などへ対応する科目として「経営学Ⅲ」の中で取り入れているコンテストの内容とコンテスト応募に向けての指導方法について述べることにより、教育現場と地域との関わり合いについて論じるわけであるが、その課題に行き着いた経緯について書かせていただく。前職が商業科教員であり現在は、会計職業人として仕事をしているが地方での税務顧問先が多く顧問先の税務相談や経営相談をしておりその中で中小企業の経営者の話を聞くことがあり、今のコロナ禍で現状が不安でありまた事業をやめるか、事業継承をしてよいものかなどの不安を抱えている経営者も多い。前職時代には思いつかない事も多々あり、常日頃よりこれを地域経済とりわけ今後の地域を背負っていく若者を育成しないと地方は先細りになると考えていた。そこで、今回の発表を通じ地域活性化の提起につながるのではないかと考えている。本報告では金沢星稜大学女子短期大学部における「経営学Ⅲ」の内容と内閣府が中心に実施している「地域創生アイデアコンテスト」の応募について考察する。データとして高等学校における進学・就職で地元を離れて数値を利用して短大生における地元「北陸地方」の魅力と今後の地域との関わり合いを述べさらには、地元に残る学生の割合が増えて人手不足を少しでも減少できるのではという希望もあり考

察する。こうした傾向を定着させるためにも、地域社会の実態を考慮した科目と自治体との協力体制も必要になるのではないかと考えられる。全国規模の課題であるが個人事業主や中小企業の事業継承の面から考えても跡継ぎがないから廃業、閉店という全国的な流れ、少子高齢化、過疎化なども地方だけでなく全国規模の問題とされている。そのような流れもこの研究が弱小ながら地元定着につながりまた新たな産業を生み雇用を促進し、定住者を増やすことにつながることを願っている。

1 地域創生

「地域創生」は近年、話題になっておるキーワードと言える。地域創生というテーマを教育と関わっている論文は少ないようである。地域創生の語源を調べると平成26年、第二次安倍内閣改造の際に発表された地方創生が語源と言える。それまでは、「地方再生」というキーワードであるがその語源が変化したものと言える。本稿においては、前述の「地方創生」について論述している。各地域は地域創生についてどのように考えているかであるが、一例として「神奈川県」においては地方創生について次のように記載されている。まち・ひと・しごと創生法が、平成26年11月に施行され、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（地方創生）に関する施策を総合的かつ計画的に実施することとなりました。（神奈川県より抜粋）北陸地域の石川県で見ていくと、平成26年の国の提言をもとにワーキングチームを発足し12月には推進本部を設置している。平成27年には「いしかわ創生総合戦略」として北陸新幹線金沢開業の最大化と県内各地、各分野への普及、多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出、学生Uターン、県内就職と移住定住の促進、子育て環境のさらなる質の向上、高齢化社会への対応などを挙げている。令和2年には、第二期いしかわ創生総合戦略について人口目標を達成するために令和6年まで具合的に取り組んでいる状況である。石川県としては、魅力ある雇用の創出、学生Uターン、県内就職と移住定住の促進という目標を立てているが学生に対して取り組むことはこの目標に対しての微弱であるが対策の一つになるのではないかと考えられる。大都市圏においても、少子高齢化と定住は課題であり、今回の取り組みは教育における地方創生であると自負する。地域創生に関しての研究として鎌倉女子大学学術研究所所報、第22巻「地方創生カレッジ 大学生ボランティアによる日本（鎌倉）文化伝承プロジェクトの実践として、鎌倉市における放課後の学童保育とアフタースクールでの活動を報告されている。内容としては、2019年11月より鎌倉市との「鎌倉市放課後かまくらっ子における地方創生プロジェクトによる連携協定書」を締結して「日本（鎌倉）文化伝承プロジェクト」が実施されている。また高等学校の現場と部活であるが、地域貢献というキーワードをもとに高等学校地理部がオリエンテーリングを実施している。このオリエンテーリングは、高齢化・過疎化などの課題を抱えている地域

であることを前提に町おこしとしてオリエンテーリングの地図を作成し、その土地の価値を見出している。そして集大成としてイベントとしてオリエンテーリング競技大会などを行っている。教育の現場に地元の自然、観光、経済などを融合したアイデアを若い力を借り、伝えていくことが過疎化などに役立ち魅力ある地域創生につながるのではないかと考えられる。

2 地方創生アイデアコンテストについて

「地方創生アイデアコンテスト」は、RESASやV-RESAS等を活用した地域課題の分析を踏まえた、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテストである。高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部（地方公共団体、民間企業等の社会人の方を含む）の2部門でアイデアを募集する。（アイデアコンテストHPより抜粋）大会に応募するにはRESASやV-RESASを利用したデータ分析が必要とされている。テーマの例示として地域経済を〇〇で元気にする・地域の問題を〇〇で解決する・新型コロナウイルス感染症により受けたダメージを〇〇で回復する・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決するなどが掲載されている。例示を先に示すことにより、アイデアが生まれにくい点には留意した。ここでRESASやV-RESASについて解説していく。このアイデアコンテストに応募するためには、前述のRESASやV-RESASを利用することが前提となっている。初学者にも利用は安易であり情報の活用にはかなり利用価値がある。RESASは、地域経済分析システムのことであり人口動態や産業構造、人の流れなどの官民ビックデータを集約し、可視化したものであり、V-RESASは、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を可視化し、リアルタイムに近い形で地域経済の健康状態を把握できるシステムである。（内閣府 地方創生推進室HPより抜粋）

3 高校生の就職状況

令和2年3月度における全国のデータによると、高等学校卒業生における就職希望割合は卒業生の2割をかける程度。8割が進学を希望していることになる。2割の就職希望者のうち県内企業を希望しているものは、8割を超えている。高校卒業者の大半が、地元である県内を希望していることが言える。都市部、（東京・大阪・福岡）などは、就職希望者のうちの県内就職者が9割を超えている。これは、地元（県内）

都道府県	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)			就職者数 (人)			R2.3.31現在の就職率 (%)		
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
埼玉	56,668	5,205	2,315	7,520	5,051	2,322	7,373	97.04131	100.3024	98.04521
千葉	48,312	5,135	1,197	6,332	4,841	1,255	6,096	94.27459	104.8454	96.2729
東京	101,256	5,787	641	6,428	5,465	671	6,136	94.4358	104.6802	95.45737
神奈川	66,413	4,398	1,111	5,509	4,124	1,172	5,296	93.7699	105.4905	96.1336
富山	9,180	1,873	88	1,961	1,868	90	1,958	99.73305	102.2727	99.84702
石川	10,444	2,024	212	2,236	2,017	214	2,231	99.65415	100.9434	99.77639
福井	7,265	1,502	157	1,659	1,498	158	1,656	99.73369	100.6369	99.81917

文部科学省データより筆者作成

の求人企業の多さも言えるのかもしれない。では、都市部と北陸エリアを見てみると違いがあることがわかる。大都市圏であると就職希望者が少ないことがあるが、北陸エリアは高等学校卒業者の2割が就職を希望している。その点は全国の数値と変わらないが、就職希望者のほとんどが県内就職を希望している。これは地元志向が強いという表れである。この点からも地元定着、定住の可能性がることから石川県という県について魅力もってもらいことも対策の一つと言える。

4 グループ活動における地域と分析

どうしても専門科目であると講義中心になりやすいのであるが、今回の地域創生アイデアコンテストを通してグループ活動を講義の中に入れることにした。選択科目さらにはコロナ禍でオンラインでの講義を受けた学生にとりどのように進めていくかであるが、グループ選定から友人となると学習効果が薄まる傾向があるので学績番号順に3名ないし4名のグループに分け、地域創生というキーワードについて数回講義を行い、そこからグループにおいてテーマの選定を行っていく方法にした。募集サイトに例示などはあるが、人間例示をみるとアイデアが生まれてこないために例示などが口頭で説明するのみとした。以下は講義における応募までの流れである。

(1) グループにおける自己紹介

オンラインの時期の学生は、同学年であっても知らない学生が多いため、講義における関わり合い以上をもとめるためにペーパータワーゲームを取り入れ、グループ間でのコミュニケーション能力をあげる工夫を行った。

(2) 自己の問題提起からグループでの話し合い

自己の問題提起を課題として、数回にわたり問題などをグループでの問題としてRESASやV-RESASを利用したデータ分析ができ解決の方法があるかを模索する。アイデアコンテストに向けて昨年の大会の様子などを見ながら課題を探す。

(3) グループにおける問題提起

グループにおける問題提起として流れを考え、その流れを「KJ法」を利用しながら具体的な提言をして最終的にアイデアコンテストに提出できる資料収集や文献などを収集する。

(4) 講義内プレゼンテーション

講義内で時間制限もあるので、1チーム5分程度で概要を説明してもらい途中経過を全体に報告する。全体に発表することで、問題提起の形が出来上がる。

(5) パワーポイントにおけるプレゼンテーション作成

各グループにおける資料から20枚までのシートに仕上げ、発表できるように完成させる。

5 まとめ

実務の現場で地域創生というキーワードを踏まえ、考えがあってもなかなか取り組めない現代であるが、短大生が出したテーマはどれも斬新であり、さらには考えさせるテーマがそろっていた。数点であるが紹介してまとめとさせていただきたい。「金沢をPRして商品化」観光地「金沢」を盛り上げるためには今の金沢では足りない、交通路がわかりにくい、移動にバスしかないのが不便である。わかりやすい観光案内板などがほしい。解決したら金沢の魅力を探り、金沢をイメージするようなモノを商品化する。そして、コロナ禍で落ち込んでいる観光業を盛り上げるという内容である。「石川の健康対策」公園などの広場の増設と健康に対する県民の考え方の考察、金沢を調べる中で公園施設が他の地方公共団体と比べると少ないのがわかり、それが金沢の健康対策になるのではないかという内容である。「金沢の交通問題」金沢市における公共機関の問題点。常に渋滞やわかりにくい交通案内。どうしても新幹線という他県の移動になり県内の移動にはバスが主流になりバスのわかりやすい利用法などを掲示が必要ではないという提案である。「雨が多い地域での問題点」北陸エリアの雨に多さに不便をきたす点をあげて解決法を模索。解決策としてレンタル傘やレンタルの雨具などを各駅など設置して急な雨対策になるのではという提案である。「観光金沢を定着させる」一回だけではなく、複数回金沢へきてもらう対策を考える。その中では、金沢の魅力ある観光地を市内だけでなく広く石川県全体で考えないと観光客の定着はありえないのではないかと提言している。「東金沢駅の活性化」学生が利用している東金沢駅の活性化。在来線の駅も無人化等になるのでどうすれば活性化につながるか。祭りなどイベントだけでは東金沢の定住者は増えないではどのような対策が東金沢も盛り上げるかを提言している。「能登の魅力を伝える」石川というと金沢というイメージしかないが、石川県は金沢だけではない。能登にもたくさんの魅力があり、それをどのように伝えるか。などである。地域産業界との懸け橋になればと発表の場を持たせてもらい感謝している。北陸地域の現状を学生からの資料から学び、さらには若者の解決方法なども学ぶ。どのように今後の地域創生を考えていけばよいか、私自身の研究意欲につながるコンテスト応募であった。最後に紹介した「能登の魅力を伝える」チームは、初出場ながら地方予選に勝ち抜き、全国大会の結果待ちである。学生達に改めて感謝をし、次年度に向けての力の源になることを願い終わりとする。

(参考文献)

- 1 小泉裕子・松田広則・飯田篤司・柴村抄織・杉山勇人 (2022)「地方創生カレッジー大学生ボランティアによる日本文化伝承プロジェクトの実践」鎌倉女子大学学術研究所報、第22巻

- 2 小林岳人（2020）高等学校地理教育における教科科目と部活動の連携「大学の学びを活かした地域活動」東北・北海道地区大学高等・共通教育研究会研究集録
- 3 「産業と教育」令和2年No.813pp62～63